

赤塚・河和田小学校区 保幼小連携に関する研究

水戸市立赤塚小学校
水戸市立河和田小学校
河和田幼稚園
水戸市立河和田保育所

目指す幼児・児童像

赤塚 小学校	◇知恵のある子 ◇思いやりのある子 ◇じょうぶな子
河和田 小学校	◇よく考え　すすんで勉強する子 ◇礼儀正しく　思いやりのある子 ◇たくましい心をもつ　じょうぶな子
河和田 幼稚園	◇仲間とともに　よく考えて　心豊かに生きる子に ・仲間の中で自分を表現し、友だちのことも受け入れられる子どもに。 ・自分で考えて、生活を楽しめる子どもに。 ・自然や物事に対して、驚きや喜びを感じ、探求心を持つ子どもに。
河和田 保育所	◇健康で豊かな心情をもった子どもを目指して（水戸市共通） ・遊べる子ども ・考える子ども ・感情豊かな子ども ・思いやりのある子ども

研 究 テ ー マ

保幼小接続で育成すべき力を見通した保育・教育課程の構築
ー自然と触れ合い、命を大切にする子どもを目指してー

1 主題設定の理由

本研究一年目となる昨年度は、目指す子ども像を共有し、幼児期の遊びが小学校以降の学びへとつながることを意識した保育・教育課程を構築するために、保幼小連携推進カリキュラムを作成した。このことにより、幼児教育と小学校教育の重なりや連続性を可視化することができた。

本年度は、保幼小連携推進カリキュラムを実践の中で活用し、交流を通して学びの連続性を明らかにしていくため、2年継続の研究主題を設定した。

2 研究のねらい

- (1) 自然との関わりを通して保幼小の活動を可視化し、接続の在り方を工夫する。
- (2) 保育・教育課程に基づく様々な交流活動を通して、相互の理解を図り、教育の目的・目標の達成を目指す。

3 具体的な取組内容

- (1) 1年次の主な取組
 - 研究組織づくり
 - 目指す子ども像の共通理解
 - 保幼小連携推進カリキュラムの作成

(2) 2年次の主な取組

月	内 容 ・ 方 法
7	○第1回保幼小連携・接続に関する研究協議会開催 ・昨年度までの保幼小連携・接続に関する研究の報告・研究の進め方の協議・情報交換 ○保幼小接続・連携のための保育参観（河和田保育所）
8	○第2回保幼小連携・接続に関する研究協議会開催
10	・保幼小接続・連携のための保育参観実施報告・具体的な交流方法の協議・情報交換 ○河和田小学校・河和田幼稚園交流（ビデオレター・落ち葉アート等）
～12	○赤塚小学校・河和田保育所交流（ビンゴカードをツールとして） ○第3回保幼小連携・接続に関する研究協議会開催
12	・各施設における実践事例報告・アプローチ・スタートカリキュラムの活用について・ 連携・接続に関する研究の成果と今後の課題について・情報交換 ○赤塚小学校学校探検（河和田保育所） ○第4回保幼小連携・接続に関する研究協議会開催
1	・研究のまとめ

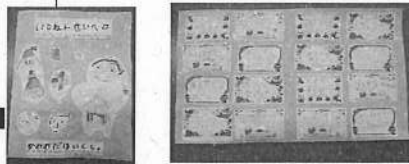
(3) 保幼小連携推進カリキュラムを活用した交流事例

① 施設間の交流（1年生と年長児）

	河 和 田 小 学 校	河 和 田 幼 稚 園
テーマ	・リースを作ってプレゼントしよう ・秋のおもちゃをしょうかいしよう	ひとつの秋を別々に 一手紙やVTRでつながろう
学 年	1学年（77名）	年長児（31名）
内 容	・生活科の授業から幼稚園生との「なかよしかい」を知る。直接会えない代わりに秋のリースをプレゼントしようと制作活動を楽しんだ。幼稚園生に喜んでもらおうと、友達と協力しながら取り組む姿が見られた。   ・また、秋の自然物を材料に作ったおもちゃの紹介をビデオレターで贈ることにした。「なかよしかい」実行委員会を組織し、オンライン学習で何度も練習した「みとちゃんダンス」や学校紹介を取り入れた。教師の「運動会で来年いっしょに踊れるかもしれないね。」の声掛けに「私たちが教えてあ	・プレゼントしてもらった秋のリースを幼稚園に飾り、みんなでDVDを鑑賞した。 ・紹介されたおもちゃを「作ってみたい!」と意欲につながった。  ・河和田小学校へ散歩に出かけ、校長先生に緊張したが お礼を伝える。 ・校庭の大イチョウに歓声が上がった。 ・校庭の遊具や落ち葉拾いを満喫した。 

	げるね。」とお兄さん、お姉さんとしての自覚を感じることができた。  	  【ライオン】 【トラ】 ・後日、小学校のイチヨウの葉で「トラ」、幼稚園のトチの葉で「ライオン」の落ち葉アートを作り1年生にプレゼントした。
考 察	・オンラインの学習からビデオレターのアイデアが出ていると感じた。 ・幼稚園生に喜んで欲しい、見て欲しいという気持や2年生になるという自覚や自信を持ち始めているように思えた。	・秋の自然をテーマにしたことは遊びも広がりやすくととても良かった。 ・間接的ではあるが交流ができ、小学校への期待を膨らませることができたのではないかと感じた。

	赤 塚 小 学 校	河 和 田 保 育 所
テーマ	たのしいあき いっぱい	秋の自然を探してみよう
学 年	1年生（32名）	年長児（16名）
内 容	・秋の自然と関わる活動を通して楽しんだことや学んだことを、保育所の年長児にも「赤小秋探しビンゴ」で楽しんでもらおうと活動が発展していった。 ・校庭で見つけた秋の虫や植物から年長児に見て欲しいものをビンゴカードで表現する。また、参加賞に松ぼっくりけん玉を制作し年長児にプレゼントする。   ・年長児のビンゴカード一枚一枚にコメントを書きながら思いを寄せる姿が見られた。また、大切に取っておいて欲しいという思いから製本し再度保育所に届ける。  	・ビンゴカードをもらって、小学校に色々な自然があることを知り、図鑑で調べながらカードに色を塗り探検を楽しみにしていた。 ・手作りの探検バックを身に着け、「小学生みたい」と喜んで赤塚小学校校庭で秋探しを楽しんだ。   ・小学校では「校庭広いよ!」「遊具も大きいよ!」と感じたことを言葉で表現していた。ビンゴカードの自然を見つけると、喜んで印をつけていた。発見を喜び友達にも伝えていた。 ・記入したビンゴカードを1年生に送る。 ・製本されたビンゴカードのコメントを喜び文字への関心が高まった。 ・松ぼっくりけん玉で遊び、お礼の手紙を

	・年長児からの手紙に、「来年、入学してきたら一緒に遊ぶのが楽しみだな」など大喜びだった。		書いて職員が届けた。
考 察	・自然と触れ合う活動を通して、児童は諸感覚を働かせて季節の変化を体感し、自然物を生かした遊びをすることで、感性や表現をより豊かなものとすることができた。 ・ビンゴカードは、やや難しかったと思われる。活動によってどのような体験をさせ、どのような力を育てたいのかを相互で確認、共通理解できるよう考慮していきたい。	・小学校への散歩では、秋探しを楽しむだけでなく、校舎や遊具、体育の授業を実際に見ることができ、雰囲気や身体で感じることができた。1年生からのプレゼントに、「すごいな!」と憧れの気持ちを持ち、小学校が身近に感じられ、就学への期待が膨らんだように思う。	

② 保育所保育参観（職員間の交流）

- ・夏休み期間中に河和田保育所で保育参観を5日間実施した。赤塚小学校・河和田小学校の教員17名が参加する。就学前の子どもの様子や保育士の関り、環境設定等を参観した。
- ・参加者から自然との関りの掲示物や飼育環境等を通して、小学校教育に通じる学びの連続性が見られた等感想が聞かれた。
- ・環境を通して行う保育の実際の様子が見られ参考になった。
- ・保育指導計画の作成方法など具体的な質問も寄せられた。
- ・保育所の子供たちも「先生」の来所に喜び、就学への期待が高まった。

4 成果と課題

(1) 成果

2年間の研究を通して、保・幼・小ごとの子ども像を紹介し合い、自然との関りを軸に保幼小接続推進カリキュラムを作成したことでお互いの理解につながった。これを土台にコロナ対策で取り組めなかった交流が、2年目にはビデオレターや経験や学習を生かした方法で実現できた。保幼小が入学後また「再会」を楽しむにできることは、接続活動の成果のひとつと言えるだろう。

また、本研究は私立幼稚園が指定校に加わったことで、公私両者が互いを知る機会になったのではないだろうか。

(2) 課題

今後も子供の学びや育ちについて保育者・教師が語り合う機会を作り、その連続性を意識したカリキュラムの編成を進めたい。

本研究の中心的課題は、子どもたちにとっての“スムーズな接続”だが、それにつなが“交流のあり方”“職員の連携”を検討し実現したい。そのために水戸市独自に公私、または保幼小が互いに歩み寄る仕組みを構築できないだろうか。

参 考 資 料

1 令和2・3年度 保幼小連携推進カリキュラム

＜水戸市立河和田保育所・河和田幼稚園・水戸市立河和田小学校・
水戸市立赤塚小学校＞

2 令和3年度 交流事例

- ① 水戸市立河和田小学校
- ② むぎの穂学園 河和田幼稚園
- ③ 水戸市立赤塚小学校
- ④ 水戸市立河和田保育所

[illegible]

交流 連携 活動	子ども	就学時健康診断			
	保育者・ 教師	小学校で所(園)からの 要録の活用	保幼小連携・接続に 関する研究協議会	交流活動の計画立案	就学児健康診断 (入学者定見情報交換)

【随時】教職員の交流（授業参観・保育参観・研修）

保育者が小学校で子どもの様子を参
観（授業参観）と情報交換会

就学児健康診断
(入学者定見情報交換)

所(園)から小学校へ要録の提出
や入学する子どもの引継ぎ

【テーマ】リースを作ってプレゼントしよう	学 校 名	水戸市立河和田 小学校	学 年	1 学年 (77 名)
----------------------	-------------	----------------	--------	-----------------

【ねらい】近くにある幼稚園児に小学生が育てたあさがおのつるでプレゼントをすることで、自分の成長を感じたり、仲間意識をもつことができる。

日にち 10 月 27 日 (水) 場所 1 学年教室

- ・近くの幼稚園児にプレゼントをつくろうという活動に、わくわくする児童の様子がみられた。
- ・自分で育てたアサガオのつるを使うことで、自分の分とプレゼントの分2個作って、上手にできたほうをプレゼントにしたいと、幼稚園児を思う児童が見られた。
- ・リースの土台作りは難しかったが、助け合いながらリース作りをする様子が見られた。
- ・「このくらいの大きさだと大丈夫かな。」「アサガオのつるってわかるかな」とつぶやきながら作る姿が見られた。

日にち 11 月 1 日 (月) 場所 教室

- ・作ったリースに自分たちで拾って集めたどんぐりをつけて「秋のリース」を仕上げることに目を輝かせて取り組んでいた。
- ・どんぐりをリースにつけるのは難しかったが、グルーガンを使って工夫して飾り付けをすることができた。
- ・幼稚園児にプレゼントすることを考えて、「かざりがとれてしまったらいいから、しっかりつけよう」など丈夫につくろうと考えることができた。

【考 察】

- ・生活科の教科書を見て、幼稚園児との「なかよしかい」という活動があること知った。しかし、今年はコロナ感染予防のため「なかよしかい」ができないので、代わりに何かできないかという話し合いをした。児童が考えたプレゼントなので、心をこめてつくることができた。
- ・難しい活動も、協力しながら頑張ったのは、幼稚園児に喜んでほしいという気持ちがあったからだと思う。
- ・リースの出来ばえについても満足な様子がみられ、誇らしさが感じられた。



【テーマ】秋のおもちゃをしようかいしよう	学校名	水戸市立河和田小学校	学年	1 学年 (77 名)
【ねらい】 近くにある幼稚園児に、河和田の秋の自然で集めた材料でつくったおもちゃを紹介することができる。				
日にち 11月 12日 (金) 場所 1 学年 家庭科室				
・生活科で作ったどんぐりや木の実を使ったおもちゃを幼稚園児に紹介するためにビデオをとることを楽しみにする児童が多くいた。 ・「いっしょに遊びたかったなあ。」「入学してきたらたくさん遊べるね。」などの児童のつぶやきに園児との交流を楽しみにしている様子が感じられた。 ・「なかよしかい」の実行委員会を組織し、小学校の紹介を行った。あいさつの言葉を考えたり、学校の様子を紹介したりすることに意欲をもって取り組んだ。また、休み時間に各クラスの実行委員が自ら声をかけあって集まり、学校紹介の練習をする姿が見られた。 ・特に、河和田幼稚園を卒園した児童は、自分の成長を先生にも見てもらいたいという気持ちで意欲的に取り組んでいた。				
 				
 				

日にち

11 月 19 日 (金)

場所 校庭

- ・河和田小学校のシンボルでもある「大銀杏」の木の下で、1年生77名が幼稚園児へのメッセージビデオ撮りを行った。
- ・「コロナがなくなったら、遊びにきてね。」「あえるのを楽しみにしているよ。」という言葉で、元気いっぱいビデオに向かって言うことができた。
- ・黄色く色づいた銀杏を幼稚園児にも見せてあげたいという気持ちで、77名が心をそろえてメッセージを言うことができた。
- ・児童のしているカラー軍手は、初めての運動会でつけた、クラスカラーで、最後の「バイバイ」は最高の笑顔で撮り終えることができた。



【考 察】

- ・交流活動はできなかったが、手紙ではなくビデオでというアイディアは、オンラインの学習で「meet」を使ったり、ビデオ撮影をして課題を送ったりというアイディアの中から出ていたと感じた。
- ・ビデオに写ることは、児童にとっては楽しい活動で、自然を利用して作った手作りのおもちゃを見せたい、いっしょに遊びたいという気持ちが伝わるビデオ撮影となった。
- ・順番に撮影している間も、練習をしたり、おもちゃをパワーアップさせたり、幼稚園児に見てほしいという一年生の気持ちを強く感じる事ができた。
- ・生活科は、自分たちで工夫をしたり、自然を感じたりできる学習なので、豊かな自然の河和田小学校で、来年度はビデオを見てくれた幼稚園児と学校で交流を深めたい。

【テーマ】「みとちゃんダンス」 をいっしょにおどろう	学 校 名	水戸市立河和田 小学校	学 年	1 学年 (77 名)
【ねらい】近くにある幼稚園児に「みとちゃんのダンス」のビデオをおくって、見てもら いいっしょにおどろうと親しみの気持ちをもつことができる。				
日にち 11月5 日 (金) 場所 体育館				
・オンライン学習でビデオを見て何度も練習した「みとちゃんダンス」を幼稚園児とい っしょに踊ろうという気持ちではりきっていた。 ・練習では「私たちのダンス上手かなあ。」「いっしょにおどってくれるかなあ。」という 不安もあったが、何度も練習をして自信をもって踊ることができた。 ・教師の「運動会で来年いっしょにおどるかもしれないね。」の声かけに、「私たちが教 えてあげるね。」と話しており、お兄さん、お姉さんとしての自覚を感じることができ た。				
【考察】 ・ビデオレターの最初に「いっしょにおどろう」と呼びかけていることに、幼稚園児徒 の仲間意識が深まっていた。 ・オンラインの学習が続き、自分一人の学習が多かったので、みんなで踊ったり、活動し たりすることに喜びを感じていた。コロナが収束して幼稚園児との交流ができる日を楽 しみにして元気いっぱいダンスをしていた。 ・いつも教えてもらうことの多い1年生なので、「今度は教えてあげよう」という言葉か ら、2年生になるという自覚や自信をもち始めているように思えた。				
				

【テーマ】 ・ひとつの秋を別々に。 —手紙やVTRでつながろう—	園名	河和田幼稚園	年齢	年長（31名）
【ねらい】 ・幼稚園生と小学生が「秋を楽しみ」自然の素材を使った遊びを紹介しあう。 ・幼稚園生は小学校を身近に感じ楽しみにする。				
日にち 11月26日（金） 場所 河和田小学校校庭				
○河和田小学校の一年生から贈り物が届く。 ※先生方が届けてくれる。 大きな箱の中には、アサガオの弦や秋の木の実を使って作ったリース、折り紙の作品、DVDが入っていた。「1.2.3…30…」みんなで数を数えると沢山のプレゼントに大喜び。				
日にち 12月 2日（木） 場所 河和田幼稚園保育室				
○贈り物を紹介し鑑賞する。 明日の小学校への散歩へ向け、贈り物とDVDをみんなで鑑賞する時間を作った。箱をあけると「すごい！」「これ誰が作ったの？」と次々に声上がる。DVD鑑賞では、卒園生や兄や姉を見つけ、「あっ！〇〇いた！」「どんぐり俺も作りたい！」と終始友達と楽しそうに盛り上がっていた。				
日にち 12月 3日（金） 場所 河和田小学校校庭				
○河和田小学校校庭へ散歩に行こう！ 河和田小シンボルの大きなイチョウの木を目指して幼稚園を出発！子どもたちはワクワクしている様子。到着すると校長先生がお出迎えしてくれましたが…緊張でお礼の言葉がすぐにはです…気を取り直しみんなで「DVDありがとうございました。」とお礼を言い、校庭に行くと「うわ～！すごい！」と歓声があがり立派なイチョウの大木にご対面。その後、校庭の遊具や落ち葉拾いを満喫して帰ってきた。				
日にち 12月 9日（木） 場所 河和田幼稚園園庭				
○落ち葉アートを作ろう！ 拾ってきたイチョウの葉っぱを使って落ち葉アート作り！お題は【トラ】。風が強く何度も形にした葉っぱが飛ばされて「きゃー！！大変！」。そんなハプニングも楽しみながら「早く小学生に見せたいね。」と頑張ってた。幼稚園のとちの葉を使った【ライオン】も話し合いながら試行錯誤を繰り返し友達と楽しんで作っていた。				
日にち 12月15日（水） 場所 河和田小学校				
○落ち葉アートを届けよう！※保育者が届ける。 今度は幼稚園から小学校にプレゼントを届けに行きました。小学生の反応をととても楽しみにしている子どもたちです♪				
【考 察】 ・交流にあたって、秋の自然をテーマにしたことは遊びも広がりやすくとても良かった。 また、教師が機会を作ることによって間接的ではあるが交流ができ、小学校への期待を膨らませることができたのではないかと感じた。				

【テーマ】 たのしいあき いっぱい	学 校 名	水戸市立赤塚小学校	学 年	第1学年 (32名)
----------------------	-------------	-----------	--------	---------------

【ねらい】

秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとする事ができる。

日にち 10月 中旬～

場所 赤塚小校庭

(1) 校庭探検

庭の草むらなどで虫を探し、それらの特徴や育つ場所について考えた。また、これまでの経験から世話の仕方を想像したり図鑑で調べたりして教室で飼育した。観察が終わると、元のすみかへと返してやっていた。校庭の樹木や草花を観察したり、木の実を拾ったりして、秋の自然物を使って遊ぶ活動を行った。各々、思い思いに秋の自然物を使っておもちゃを作り、交流を楽しんだ。制作中に、松ぼっくりのけん玉を河和田保育所のらいおん組子供たちにもプレゼントしたいという声上がり、「赤小のあきさがしビンゴ」の参加賞として学級全員で制作に取り組み、プレゼントすることにした。



(2) 赤小秋探しビンゴカード作り

河和田保育所のらいおん組の子供たちが、本校からの赤小への散策への招待を受けて散歩に来ることとなった。このことを聞いた児童は、自分たちが赤小の秋探しで発見した虫や木の葉でビンゴを楽しんでもらおうと活動が発展していった。生活科の時間に児童が校庭で見つけた秋の虫や植物の中かららいおん組の子供たちに見て欲しいものをビンゴカードで表現した。



日にち 11月 17日 (水)

場所 赤塚小校庭

(3) 河和田保育所らいおん組 赤小校庭お散歩

11/17(水)に河和田保育所らいおん組の子供たちが、赤小の校庭を散策し、「赤小のあきさがしビンゴ」を楽しんだ。児童の話合いの結果、ビンゴカードには、カマキリ、ショウリョウバッタ、キリギリス、コオロギなどの秋の虫、どんぐり、ススキ、キンモクセイ、桜、イチョウなどの樹木の葉や実などを絵と言葉で表現した。保育士の助言や支援を受けて取り組む様子が見られた。





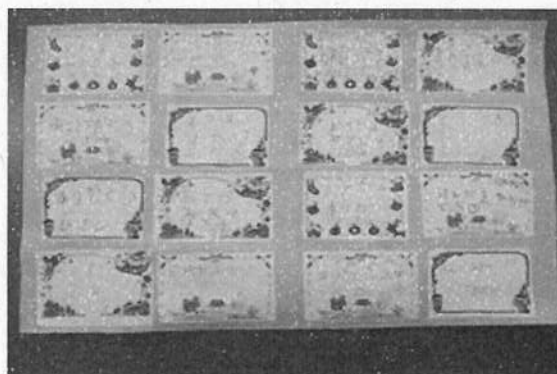
ライオン組からの「赤小のあきさがしビンゴカード」を受け取った児童は、グループに分かれて担当したカード一枚一枚に丁寧にコメントを書き込んでいた。コメントを書き込みながら、「わあ、よく見つけたね」とつぶやいたり、「キンモクセイは体育館のわきにあるから見つけにくかったかな」などと話し合ったりして、交流の楽しさを実感していた。



ビンゴカードをいつまでも大事にとっておいてほしいというある児童の提案から製本することにし、再び河和田保育所に届けた。



後日、河和田保育所のらいおん組の子供たちから、かわいらしいお手紙が届いた。さっそく児童に見せると、「松ぼっくりのけん玉、喜んでもらえたみたいでよかったね」「来年、入学してきたら一緒に遊ぶのが楽しみだな」などと大喜びだった。



【考 察】

- ・自然と触れ合う活動を通して、児童は諸感覚を働かせて季節の変化を体感し、自然物を生かした遊びをすることで、感性や表現をより豊かなものとする事ができた。
- ・児童の考えたビンゴカードがらいおん組の子供たちには難しかったと思われた。事前に実態や発達段階に合ったものであるか内容を確認してもらった方がよかった。再度交流をする際には、その活動によってどのような体験をさせ、どのような力を育てたいのかを相互で確認、共通理解できるよ

う考慮していきたい。

- ・直接交流が可能となったときに、どのような交流が可能でお互いの発達にとって有効なのか、また、実施する日程や内容等を年間計画に具体的に組み入れ、年間を見通した連携が必要であろう。

【テーマ】 秋の自然を探してみよう	園 名	河和田保育所	年 齢	5 歳児 (1 6 名)
【ねらい】 秋の自然の中で、いろいろな活動を通して 1 年生との交流を楽しみ、親しみや憧れの気持ちをもつ				
日にち 11 月 17 日 (水)		場所 赤塚小学校		
○ビンゴカードをもらう ・小学校にいろんな自然があることを知り、小学校に行くことをとても楽しみにしていた。図鑑で色を調べながら、ビンゴカードに色塗りをした。 ・手作り探検バックを身につけると、「小学生みたい」と喜んでいました。 ○小学校に散歩に行く ・小学校に着くといろいろなものに興味をもち、「校庭広いよ!」「遊具も大きいよ!」等と、感じたことを口々に話していた。 ・ビンゴカードの自然を見つけると、喜んで印をつけていた。見つけたものを手に取り、周りの友達にも教えてあげていた。 ・ビンゴカード以外の植物にも興味をもっていた。 ・小学生が校庭に出てくると、興味津々に様子を見ていた。体育の授業中でマラソンが始まると、応援する姿も見られた。「走るの早いな」と憧れの言葉も聞かれた。				  
日にち 12 月 3 日 (金)		場所 河和田保育所		
○ビンゴカードのコメントを見る ・コメントが書いてあることに気づき、喜んで読む。字が読めない子も、友達に読んでもらっていた。友達と見せ合い、喜びを共有していた。 ・卒園児のコメントを見つけると、嬉しそうに教えてくれた。 ○けん玉で遊ぶ ・けん玉を配ると上手な絵に喜び、友達と見せ合っていた。 ・上手にけん玉できるようになりたいと繰り返し挑戦する姿が見られた。 ・1 年生がお散歩に行つて拾ってきた松ぼっくりで作ってくれたということを知ると、「自分たちも作ってみたい」という意欲につながった。 ・プレゼントをもらったことを喜び、お礼をしたいと声が上がった。				  
【考 察】 小学校へのお散歩では、秋探しを楽しむだけでなく、校舎や遊具、体育の授業を実際に見ることができ、雰囲気や身体で感じることができた。1 年生からのプレゼントをもらうと、すごいなと憧れの言葉が多く聞かれた。この交流を通して、小学校を身近に感じ、進学への期待が膨らんだように思う。				